

## いわて花巻空港の令和2年度収支について

### 1 公表の目的等について

空港運営に関する情報の開示など透明性を確保し、利用者の便益の増進や空港運営の効率化を図るため、平成21年9月に国土交通省が、国管理空港の収支状況を公表した。

これを受けて本県では、平成20年度分から、いわて花巻空港の収支を公表してきたところであり、今回、令和2年度分のキャッシュフローベースの収支及び貸借対照表を作成したものを。(資料1参照)

#### 【備考】

##### ・「キャッシュフローベースの収支」

県一般会計歳入歳出決算から、いわて花巻空港に係る現金の出納を抽出し収支を把握したもの

##### ・「貸借対照表」

いわて花巻空港の資産（土地、建物及び工作物等）や負債を一覧で示したもの

### 2 キャッシュフローベースの収支について

#### (1) 空港整備及び維持運営など全ての経費のうち歳出超過額

15億5,900万円（R元：16億9,800万円、1億3,900万円減少）

※ 歳入（借入金、国庫支出金）の増が歳出（空港整備事業）の増を上回ったため。

#### (2) (1)のうち、維持運営の経費のみに係る歳出超過額

8億3,800万円（R元：9億7,100万円、1億3,300万円減少）

### 3 貸借対照表について

#### (1) 資産 423億6,100万円（R元：430億6,800万円、7億700万円減少）

うち有形固定資産 423億6,000万円（R元：430億6,700万円、7億700万円減少）

※ 建物、工作物等の減価償却により減少したもの。

#### (2) 負債 89億9,800万円（R元：94億1,200万円、4億1,400万円減少）

※ 県債残高が減少したことによるもの。

#### (3) 純資産 333億6,300万円（R元：336億5,600万円、2億9,300万円減少）

### その他 経済効果の試算について

令和2年度中にいわて花巻空港を利用した観光客が県内で支出する額を、経済効果の1つと捉えて単純に試算したところ、新型コロナウイルス感染症拡大による航空需要の低迷等により、概算で9億8,800万円（R元試算結果：56億1,100万円、46億2,300万円の減少）となった。(資料2参照)

## 令和2年度 いわて花巻空港の収支について

## 1. キャッシュフローベースの収支

## (1) 空港整備及び維持運営など全ての経費 (金額：百万円)

項目	R1	R2	差引増減
<b>歳入 A</b>	<b>502</b>	<b>812</b>	<b>310</b>
着陸料等収入	141	54	-87
土地建物等貸付料収入	33	45	12
国庫補助金等収入	34	210	176
航空機燃料譲与税	34	8	-26
借入金	109	354	245
地方債償還時交付税収入	150	140	-10
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	0	0	0
<b>歳出 B</b>	<b>2,179</b>	<b>2,370</b>	<b>191</b>
空港等維持運営費等	1,104	978	-126
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	130	130	0
空港整備事業費	64	408	344
環境対策費	0	0	0
借入金償還	878	851	-27
災害復旧関連費	0	0	0
<b>歳入歳出差額 C=A-B</b>	<b>-1,677</b>	<b>-1,559</b>	<b>118</b>
<b>翌年度への繰越財源 D</b>	<b>21</b>	<b>0</b>	<b>-21</b>
<b>実質収支額 C-D</b>	<b>-1,698</b>	<b>-1,559</b>	<b>139</b>

## (2) (1)のうち維持運営の経費のみを抽出 (金額：百万円)

項目	R1	R2	差引増減
<b>歳入 A</b>	<b>267</b>	<b>273</b>	<b>6</b>
着陸料等収入	141	54	-87
土地建物等貸付料収入	33	45	12
国庫補助金等収入	2	17	15
航空機燃料譲与税	34	8	-26
借入金	56	149	93
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	0	0	0
<b>歳出 B</b>	<b>1,238</b>	<b>1,111</b>	<b>-127</b>
空港等維持運営費等	1,104	978	-126
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	130	130	0
<b>歳入歳出差額 C=A-B</b>	<b>-971</b>	<b>-838</b>	<b>133</b>
<b>翌年度への繰越財源 D</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>実質収支額 C-D</b>	<b>-971</b>	<b>-838</b>	<b>133</b>

## ～歳入の主な変化～

- ・着陸料等収入の減（減便、運休）
- ・国庫支出金の増（空港整備）
- ・県債の増（空港整備）

## ～歳出の主な変化～

- ・管理運営費の減（施設整備補助金、保安対策費）
- ・空港整備事業費の増（滑走路改良事業）

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、増減が一致しない部分がある。

## 2. 貸借対照表（令和3年3月31日現在）

(金額：百万円)

借方	貸方
[資産の部]	[負債の部]
<b>1 公共資産</b> <u>42,361</u>	<b>1 地方債</b> <u>8,839</u>
(1) 有形固定資産	<b>2 未払金</b> <u>0</u>
土地 <u>38,898</u>	<b>3 退職手当引当金</b> <u>159</u>
立木 <u>84</u>	<b>負債合計</b> <u>8,998</u>
建物 <u>777</u>	
工作物 <u>2,187</u>	[純資産の部]
備品 <u>415</u>	<b>純資産合計</b> <u>33,363</u>
建設仮勘定 <u>0</u>	
<b>有形固定資産合計</b> <u>42,360</u>	
(2) 無形固定資産 <u>1</u>	
<b>2 その他</b> <u>0</u>	
(1) 未収金 <u>0</u>	
(2) 回収不能見込額 <u>0</u>	
<b>資産合計</b> <u>42,361</u>	<b>負債・純資産合計</b> <u>42,361</u>

※ 有形固定資産の減価償却累計額は、9,704 百万円です。

## 令和2年度におけるいわて花巻空港の経済効果（旅行支出額）の試算について

## 1 試算の考え方

(1) 国際線は運休によりゼロ

(2) 国内線における経済効果試算

国内線空港利用者数 × 観光目的の利用者割合 × 1人当たり旅行支出額

## 2 試算結果

経済効果（旅行支出額） = **9億8,800万円**（R元：56億1,100万円）

（国際線0万円＋国内線9億8,800万円）

(1) 国際線（0万円）（R元：11億100万円）

(2) 国内線（9億8,800万円）（R元：45億1,000万円）

	旅行支出額 (千円) g=h*i	利用者数(人) ※1 h	1人当たり旅行支出額 (円) ※2 i
札幌線	191,822	5,643	33,993
名古屋線	272,658	8,021	
大阪線	416,040	12,239	
福岡線	105,072	3,091	
神戸線	2,753	81	
計	988,345		

※1 観光目的の利用者（推計値）

※2 「1人当たり旅行支出額」は、観光庁「旅行・観光消費動向調査2020年間値（確報）から引用。